

Always with a SMILE!®

特集 清瀬市しあわせ未来センター しあわせの未来— 子どもたちと共に

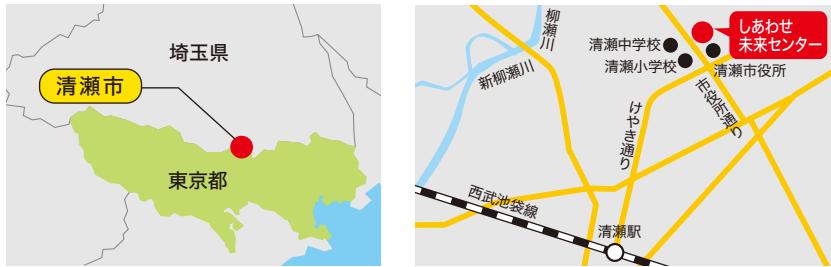
設計・監理担当者紹介



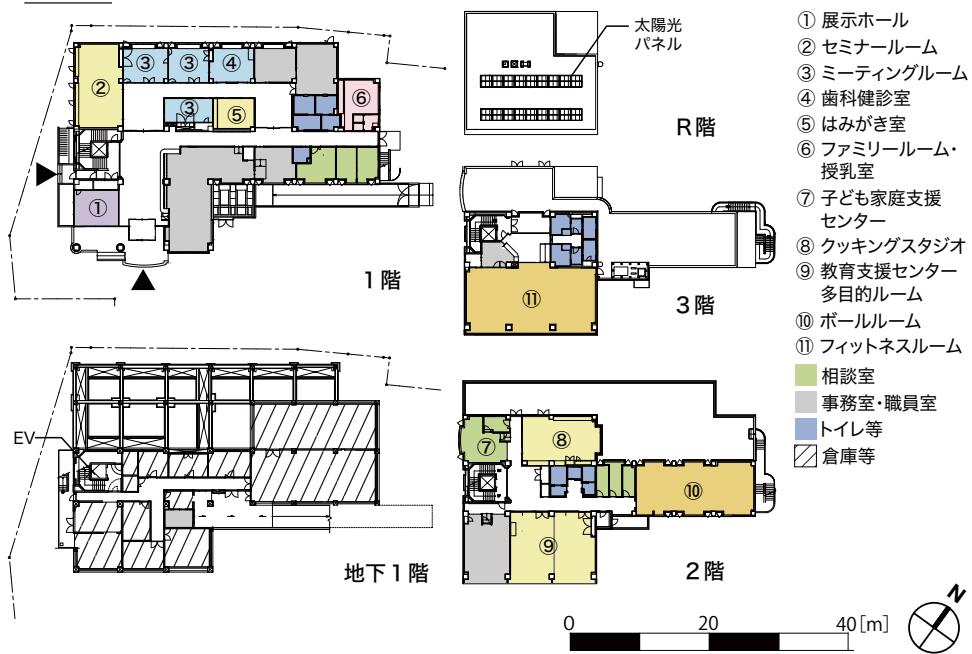
担当 一級建築士
(株)久慈設計 東京支社 BIM 推進室 室長 梅澤 佑介

設計時においては、現地にて関係各課の方々の多くの御要望をお聞きし、地域の方々から本施設が求められていることを、対話の中で理解していくことが出来ました。多岐に渡る要望や既存建物が抱える問題を共有し解決していくためにBIMを用い、地域の方々に寄り添う施設となるように計画をしました。各工事関係者の御尽力により十分な配慮をして頂き、無事に工事が完了致しました。本施設が今後も継続して地域のこどもの未来の拠点となり、更なる地域への貢献に寄与することを心から願っております。

地図



平面図



Always
with a SMILE!®

発行責任者 株式会社 久慈設計
住 所 / 岩手県盛岡市紺屋町3-11
T E L / 019-624-2020

公式HP
トップページ →

公式HP
リクルートページ →



KUJI ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計®
(一級建築士事務所)

KUJI HIGASHINIHON ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計東日本®
(一級建築士事務所)

บริษัท คุจิ เชคเค ไทย จำกัด
KUJI SEKKI THAI CO.,LTD.
Bangkok



「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」

久慈設計は「Fukushima with a SMILE!」を通じて福島県の魅力を発信していきます。



清瀬市しあわせ未来センター

■施工地/東京都清瀬市中里五丁目842番
 ■竣工年月/2023年2月
 ■構造/RC造
 ■敷地面積/10,275.82m²
 ■延床面積/2,734.32m²

子育てが楽しいまちの未来へ

清瀬市しあわせ未来センター(旧清瀬市健康センター)は、平成元年3月に健康センターとして竣工し、市民の健康を守る拠点として長く地域に根差している施設です。本施設は竣工当時から大きな改修を行うことなく、築後30年以上が経過しているため、建物や設備機器の老朽化及び劣化が著しくなっていました。今回、老朽化した建物について、物理的な不具合を直し建物の耐久性を高めることに加え、建物の機能や性能を、現在に求められている水準まで引き上げる改修計画としました。また、同一敷地内には令和4年に竣工した清瀬市役所新庁舎があり、プロムナードによって本施設と接続するため、2つの建物が調和するように改修を行うこととなりました。新しく生まれ変わった本センターから子育てが楽しいまちづくりが始まります。



お母さんと子どもにやさしい場所を

より一層子どもの成長を見守り育むための施設となるよう、安心・安全で居心地が良く、地域と連携・協働し、環境に配慮するという基本設計コンセプトとしました。1階には各健診室やはみがき室を配置し、地域の子どもたちの健康を守ります。2階には地域の学校や家庭の問題に対応する為、教育支援センターや子ども家庭支援センターが新設されました。施設全体を高齢者や子どもたちが利用しやすい施設設計としながらも、既存施設では不足していた機能追加を行いました。また自然採光や通風に配慮した平面計画とし、明るさや温かみのある空間づくりに取り組みました。

太陽光発電や省エネルギーに配慮した機器選定を行い、今後50年の利用を見据えた設備改修計画を行いました。人感センサー制御の導入、LED照明の採用により消費電力の低減化や、高効率機器、全熱交換器を採用し、利用エネルギーの低減化、衛生器具に節水型器具の採用により、給排水動力の節減にも取り組みました。



明るいグリーン色で統一されたフロア



BIM(3次元)設計の活用!

本改修事業にはBIM(3次元)設計を活用しています。3Dモデルを打ち合わせに利用することで、改修工事の可視化を行い、細部共有を可能にします。今回は、各居室のカラー提案にも利用しました。

※BIMとは

Building Information Modeling(ビルディング・インフォメーション・モデリング)の略称で3次元の形状情報に、材料・部材の仕様・性能、仕上げ等の属性情報を併せ持つ建築情報モデルです。

